

# 「つながり」が生む地域の活力 女性の力を生かして輝く狭山へ



大野 和子 さん プチッ子クラブ しゅっぽっぼ初代代表  
後藤 佑季 さん ツナガール代表  
洲崎 かおり さん 西武文理大学サヤマ de シネマ vol.1 実行委員長

## 地域や社会に広がる女性の力

市長 明けましておめでとうござい  
います。平成30年の新春を、家族お  
そろいでお迎えのことと思います。  
狭山市も「活力あるまち」を目指  
して平成30年のスタートを切りま  
したが、その実現のためには、活力  
の源である「人の力」を高めていく  
ことが大切だと思っています。今、  
市内各地では、環境や子育て、教育  
防災などさまざまな分野で市民の  
皆さんが活躍されています。こう  
した活動が、より活発になるため  
にも、若い世代や女性の活躍には  
大いに期待しているところです。  
そこで本日は、市内でご活躍さ  
れている女性リーダー3人の方  
にお集まりいただきました。  
皆さんの地域に対する思いや活  
動の原点、女性が地域や社会で活  
躍するために必要なことなどを

お聞きしたいと思います。  
大野 和子 さん  
「家庭や地域が輝くことは、全体  
が輝くことにつながります」

聞かせただけだと思えます。  
まずは、皆さんの活動の紹介も  
含めて自己紹介をお願いします。  
大野 生まれも育ちも狭山市です。  
平成10年5月に、自宅のある水富地  
区に、子育て中の親子が気軽に集え  
る場として「プチッ子クラブ しゅ  
っぽっぼ」を立ち上げました。私は  
1年で代表を退きましたが、現在  
もスタッフとして活動しています。  
「しゅっぽっぼ」では、2〜4歳  
の子ども達が、絵本の読み聞かせ  
や誕生会、プール遊びなどのほか、  
節分やお月見会など、季節の伝統  
行事も楽しんでいきます。  
お母さん同士の交流も盛んで、  
悩みなども気軽に相談できるだけ  
でなく、情報交換の場にもなって  
います。  
後藤 神奈川県出身です。結婚を  
機に狭山市に住み始めました。ピ  
アニストの活動をしながら夫が経  
営する写真館の役員もしています。  
平成26年4月に、西武線沿線を  
中心に活動している女性起業家を  
つなぐ「ツナガール」という会を立  
ち上げ、その代表を務めています。  
約110名の会員と一緒に、交  
流会やスキルアップのためのセミ  
ナーなどを企画して、子育てと仕  
事が両立できるよう女性同士が励



しゅっぽっぼのスタッフと子ども達が「大きなかぶ」で体を動かしながら楽しんでいます

まし合える場をつくっています。  
洲崎 埼玉県で生まれましたが、  
幼い頃から練馬区で育ちました。  
狭山市には大学に入学した3年前  
に初めて来ました。現在、西武文理  
大学のサービスクラブサージャ  
経営学科に在籍しています。  
昨年9月に市民会館で、狭山市  
初の映画祭「サヤマdeシネマ」を開  
催し、その実行委員長を務めまし  
た。映画の選定から宣伝、当日の運  
営まで、イベントの全てを100人  
の学生スタッフだけで行いました。  
多くの市民の皆さんにご来場い  
ただき、「狭山市には映画館がない  
ので、来年もやってほしい」とい  
った声もいただけて、本当にやっ  
てよかったと思えました。

## 行動のエネルギーは共感力とつながり合う力

市長 皆さん、素晴らしい活動を  
されていますね。それぞれ「思い」  
があって実現したのだと思います  
が、初めの一步を踏み出すには勇  
気が必要だったと思います。  
皆さんは、どのようなきっかけ  
で活動を始めたのですか。  
大野 シンプルに「子育て中のお  
母さん達を応援したい」との思い  
からです。私にも経験があります  
が、母親って、子育て中は24時間  
わが子と接しているのでも息も抜  
けないし、家にいるので意外と孤  
独なんですよね。そんな思いを抱  
えたお母さん達にとって仲間づくり  
の場というのが当時はほとんどあ  
りませんでした。知り合いの女性  
に声を掛け、スタッフを集めても  
らい、5人の仲間です「しゅっぽっ  
ぼ」を立ち上げました。

「自分を知り、自分を好きになれ  
ば、必ず輝くことができます」  
後藤 佑季 さん

初めは、若いお母さんが来てく  
れるのか、とても不安だったの  
ですが、当時のスタッフのお子さん  
がポスターを描いてくれたり、ス  
タッフ全員でチラシを配ったりと、  
みんなが助けてくださって知っ  
てもらえるようになりました。  
今ではさらに協力者も増えて、  
近所のご夫婦が白と杵を用意し  
てくださり餅つきをしたり、農家  
にお願いして畑でサツマイモ掘り  
をしたりするなど、バラエティーに  
富んだ活動ができています。何よ  
り地域の方の心遣いと協力がうれ  
しいですね。  
洲崎 私は毎年、インターシッ  
プで東京国際映画祭のスタッフを  
していたんです。その中で一緒に  
参加した学生たちと、学舎のある  
狭山市で「私たちの国際映画祭を  
創ってみたいね」と夢を語ったの  
がきっかけです。  
よい映画を観た後は、心に残っ  
たワンシーンや感じた想いを誰か  
に話したくなりますよね。映画祭  
が成功すれば、人と人との新たな  
コミュニケーションが生まれて地  
域も活性化できるんじゃないかと  
考えました。  
協力してくれる大学の仲間が大  
勢いたことはもちろんですが、大

学の先生や東京国際映画祭のス  
タッフの方々が相談に乗ってくだ  
さり、後押ししてくれたおかげで開  
催することができました。  
市長 市外から通学している学生  
が多い中で、狭山市で開催するの  
は大変だったのではないですか。  
洲崎 私を含め、学生の多くは家  
と大学の往復だけで、地域と接す  
る機会は多くありませんでした。  
今回、映画祭という大きな目標  
があったので、市内のお店や公民  
館などを訪ねる経験ができました。  
ポスターの掲示やチラシを置いて  
もらえるようお願いしたんですが、  
行く先々で皆さん快く引き受け  
てくれました。  
そこで感じた狭山の皆さんの温  
かさは、私たち学生に「本当に狭山  
が好き」と言わせてくれましたし、  
地域とのつながりが生まれたと思  
っています。  
後藤 「つながり」と言えば、私は  
自分の住むこの狭山市をもっと住  
みやすいまちにするために、地域で  
つながりをつくりたいと思って活  
動を始めました。それにはまず仲  
間づくりからだと思います。いろ  
んな交流会に参加しようと思ったの  
ですが、女性同士がつながって可  
能性を広げていけるような会が私  
には見つからなかったんですね。  
だったら自分で「どこにもない



「ツナガール」のセミナーで起業の事例を発表

会をつくらう」と思いました。女性  
起業家の友達からも後押しする声  
をもらえたので、それを力に始め  
たのが「ツナガール」です。働く女  
性が集まり、人のつながりを広げ  
ることで、ビジネスもつなげられ  
たら「交流会」を始めたのです  
が、会場が満席になるほどの反響  
の大きさに毎回驚いています。  
参加者からは、「都内で仕事をし  
ていると、子育てとの両立が難し  
い」「いずれは地元で多くの人と関  
わりたい」「仕事をして地元で活躍  
したい」といった声を多く聞くよ  
うにもなりました。  
今では起業に必要なセミナーや  
女性と企業をつなぐ活動、そして、  
地域につながる活動も行ってい